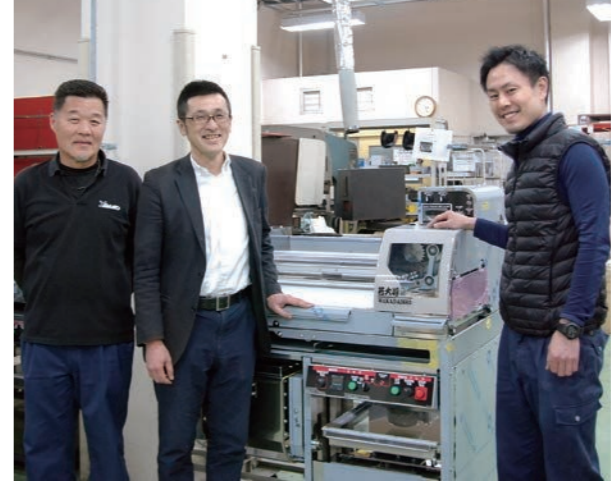


麺ビジネスをトータルサポート 世界に広がるユーザーの輪



(左から)前工場長・橋本光喜さん、藤井社長、新工場長・宮武圭祐さん。
橋本さんは工業高校時代に大和製作所の前を通って通学していたそう



▼▲ 麺学校での実習の様子



ずらりと並んだ製麺機。実際にお店で使うレシピでテスト製麺し、麺の仕上がりを確かめた上で、丁寧にクリーニングしてから納品する



ゆで卵の殻をむく機械のパーツづくり



電設関係も社内に専門部署を構えて一貫対応している



おいしさと安全にこだわる

全国各地で「ご当地」の特徴あるうどんやそば、ストリート・ちぢれ・細麺など麺の形がさまざまなラーメン。大和製作所の製麺機は、それぞれのお店の個性に合わせたおいしい麺を手軽に作る事ができる、厨房のサポート役です。

同社は代表取締役・藤井正章さんの祖父が営んでいた鉄工所をルーツに、父・薫さんが創業。周囲の勧めもあり、うどん製麺機の開発に乗り出しました。業界では後発メーカーに当たるため、練り・鍛え(足踏み)・伸ばし・カットの各工程を1台でこなせる「一体型の利便性」と「誰でも安心して使える安全性」で他社と差別化を図りました。飛行機や船の設計を手掛けていた技術者である薫さんを軸に、当初は部品類も含めて一から全て自社で製造していたそうです。

読書家で研究者肌の薫さんはおいしさにもこだわり、うどんの製法も研究。「食品製造のレシピも設計」と捉え、同じ味・品

をむく」などの小型の機械を含めると、年間700台ほどを製造しています。韓国を皮切りに20年ほど前から本格的に海外進出を推し進め、今や世界80カ国以上に展開。海外ユーザーの声に添って大量の製造が可能な大型機も開発するなど、新たな挑戦につながっています。

最新ノウハウを学べる 麺学校も人気

ものづくりの傍ら同社が主催する「大和麺学校」は、製麺機ユーザーとの絆を大切にする取り組みの一つです。香川と東京の2校でラーメン・うどん・そばの3コースを展開し、いずれも少人数制・短期集中型。カリキュラムを柔軟に組み立て、時代のニーズに合わせてビジネス課題を解決する「最新の学び」を提供します。



ものづくり企業

株式会社大和製作所

住所 宇多津町浜三番丁37-4

設立 1980年 (従業員数) 86人

☎0877-85-6168

https://www.yamatomfg.com/

うどんやラーメン、そば、パスタ……さまざまなお店の厨房で麺づくりをサポートする「製麺機」。おいしさを守りつつ現場の省力化に貢献する香川のものづくり企業を紹介します。

質を安定して供給することができる製法をデータ化し、当時はまだ珍しかった半生うどんの製造工程なども確立しました。

作れる麺の種類が増え
海外ニーズも好調

一体型の小型製麺機は、完全に自動化するものではなく職人をサポートするためのもの。必要な機能や性能を選択できるような受注生産方式を採用しています。おいしい麺が作れると評判が広まり、中四国から九州へと販路を拡大。ラーメン文化圏の土地柄に合わせ、ラーメン製麺機も開発しました。

さらに、そば文化圏の東京へ進出した際は、薫さんが自らそば職人に弟子入りして製法を学び、そば製麺機を開発。競合他社の多い中、おいしさとともに「365日メンテナンス」のアフターケア体制の充実したサービス体制が支持され、販売開始から数年でトップシェアを実現しました。

現在は「スープを漉す」ゆで卵の殻

半数は海外からの受講生。需要にあわせビーガンやハラール、グルテンフリーなどのレシピにも対応。卒業生が母国で店を立ち上げることも多く、同社国際部を通じてサポートを行っています。

3年前に入社し、販売やマーケティングに関わってきた正章さんは、「メンテナンス技術をマニュアル化することで社内での技術継承を推進するとともに、協力業者も国内外で拡大していきます」と語り、365日対応のメンテナンス体制のさらなる充実化に意欲的。ヨーロッパとアメリカでは自社メンテナンス体制を構築中です。「長いつながりを育むためにも、顧客のビジネスステージに応じた課題解決を提案していきたい」と、将来を見据えています。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087(868)9904

INFO

「香川県ビジネスチャレンジ コンペ2026」参加者募集中!

革新的な技術やアイデアで新しい価値を生み出し、県経済の活性化につながる独創的なビジネスプランを有する起業家を募集します。

応募資格

県内に本店または主要な事業所を置く中小企業者、一般財団法人、一般社団法人、特定非営利活動法人であって、創業5年以内(または2027年2月28日までに創業予定)の方
※詳しくは、下記ホームページから公募要領をご確認ください。

応募期限 2026年6月1日(月)

最終選考(公開プレゼンテーション審査)および表彰式

書類選考通過者(6人程度の予定)について、公開プレゼンテーションによる審査を実施します。

【日程】 2026年9月5日(土)

【場所】 高松シンポルタワーホール棟1階「展示場」

特典

補助金:最優秀賞500万円、優秀賞300万円、奨励賞200万円 ほか



昨年度の表彰式の様子

問い合わせ先

商工労働部 産業政策課

☎087-832-3353



詳しくはこちら